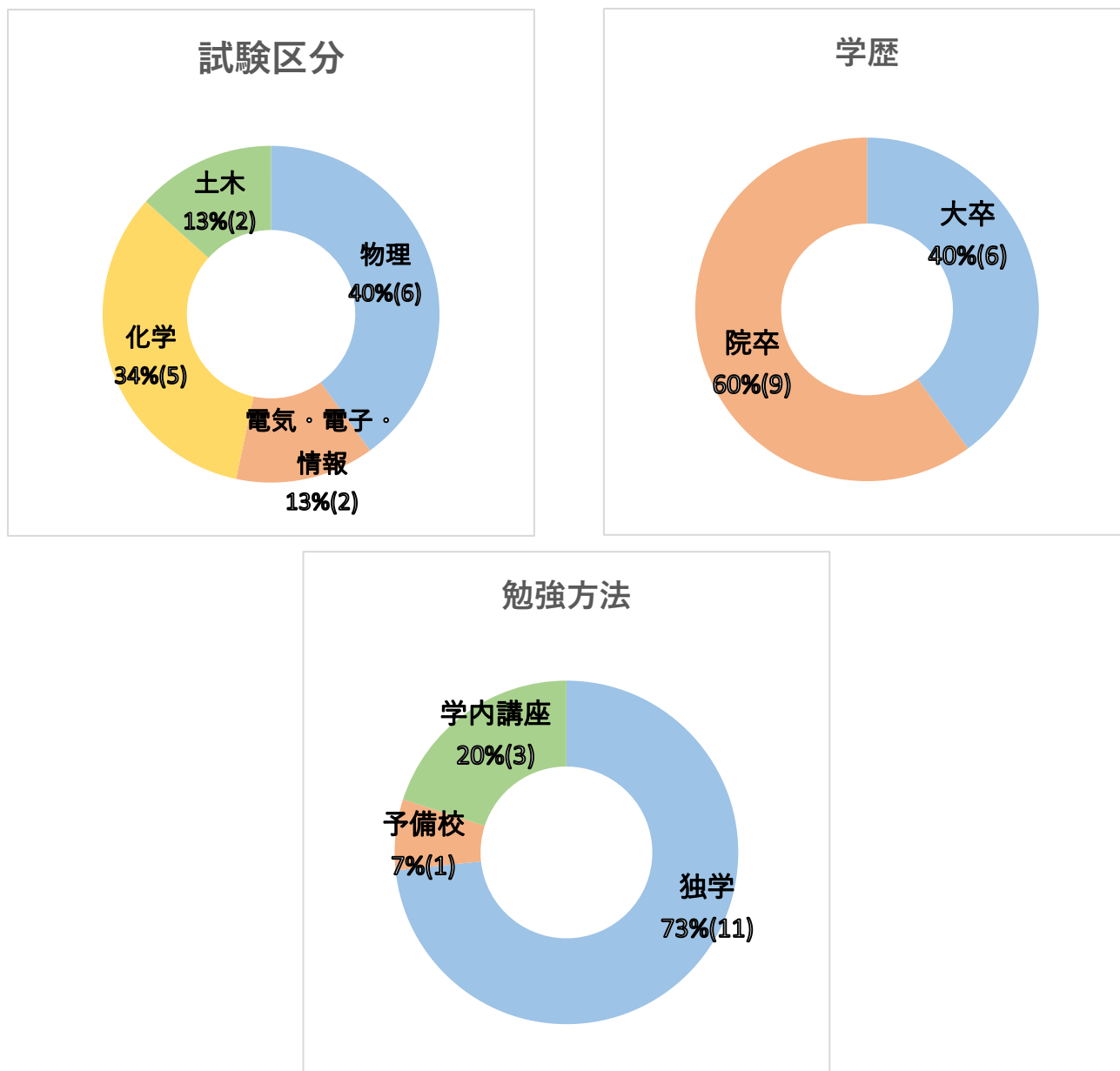


## 第二部 国家公務員採用一般職試験 体験記

この第二部では、内定者2名による国家公務員一般職試験の勉強・対策をお伝えします。

過去5年分 一般職理工系内定者の試験区分・勉強方法の内訳

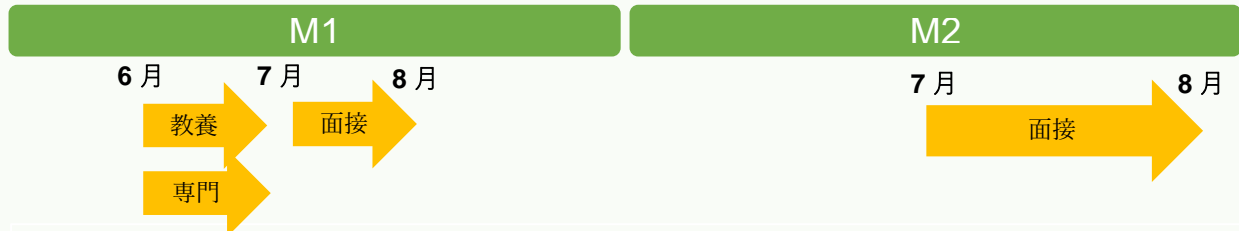
(円グラフは過去5年分の統計を示しています。()内は実際の人数を示しています。)



本冊子に記載している試験方法や内容は、2019年度国家公務員採用試験について述べたものであり次年度以降の採用とは異なる可能性がございます。また、勉強方法などに関しまして、あくまでも内定者個人の見解に過ぎず、参考としてご覧いただければと思います。

## 大悟(一般職物理 / 大卒程度 / 2018年度 / 理工学研究科 理学専攻)

## ● スケジュール



一般職試験の勉強は特にしていません。少しだけ教養の数的処理と判断推理を本で解きました。国家公務員試験の2次面接では、人生初の面接だったので、大学のキャリアセンターにお願いをして面接練習と面接カードの書き方の指導をしていただきました。大学によって違うかもしれませんが、キャリアセンターに過去問集があるし、面接練習もできるのでぜひ活用していただければと思います。

## ● 教養・専門・面接・論文/政策討議の勉強量バランス



面接練習と教養の勉強を多少したのでグラフのようになりました。専門は専攻の研究や大学受験をしっかりやっていれば、特に問題ないかと思います。私は大学受験で物理を使っていませんでしたが、大学の勉強で大丈夫だったので心配ありませんでした。

## ● 試験結果

- ・ 席次 【中の下】

## ● 利用してよかったもの

- ・ キャリアセンター

## ● 教養

とにかく問題を解くことが必要だと思いました。出るパターンは同じだし、問題1つ1つはそんなに難しくありません。ただ、時間が足りないので、確実に取れる点から取っていくのがいいかなと思いました。私は最初の論説と英語を捨て、数的処理、判断推理に時間をかけるようにしていました。

## ● 専門マーク

物理は主に、数学と物理があり、物理は広く浅く出ます。最後の20問が選択問題で、自分の専攻に合わせて試験をすることができます。私は数学と地球物理学が得意だったので、確実にそこで点数が取れるように対策していました。順位を気にしないのであれば、とにかく解ける問題を確実に解くことが必要かなと思います。

## ● 専門記述

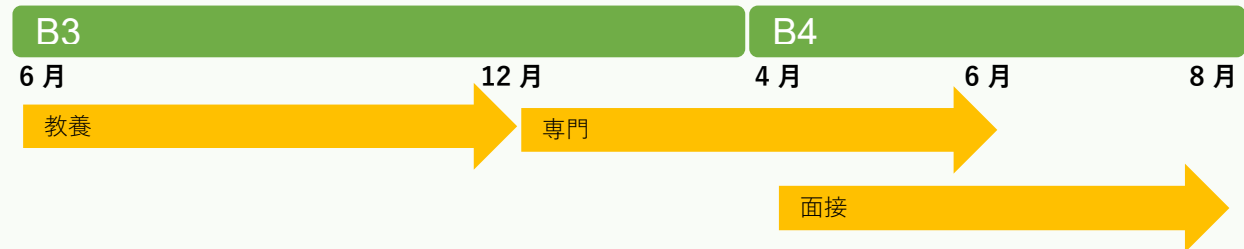
内容が毎年バラバラなので、対策しようがないですが、物理の専門記述は、科学の発展と普及に関して聞かれることが多いかなと思います。科学をどうやって社会に貢献させるかが大本の問題だと思うので、専門的な科学技術（特に近年流行っているものなど）をマークしておいたり、社会に貢献するにはどうすべきかを常に疑問視しながら生活したりするといいかもしれません。あとは、書く練習をするといいと思います。

## ● 人事院面接

面接練習をするだけでいいと思います。面接カードはキャリアセンターや大学の先輩に見てもらいたいと思います。

## ノブ(一般職化学 / 大卒程度 / 2019年度 / 工学部 化学生命系学科)

## ● スケジュール



B3の6月頃から大学生協の公務員講座を利用して教養も専門も勉強していました。教養はB3の12月まで、年が明けた1月から専門を集中的に取り組みました。教養は数的処理や社会科学など、自分の得意な分野を中心に組み、確実に点が取れるように勉強しました。専門に関しては、約15年分の過去問を解き対策しました。

## ● 教養・専門・面接・論文/政策討議の勉強量バランス

教養  
20%専門  
50%面接  
30%

試験の配点が高い専門を重点的に取り組みました。教養は高校で習ったところを軽く復習する程度で済ました教科もあり、専門よりは勉強時間がかなり少ないです。面接に対しては、聞かれそうな質問に対してどう答えるか少しずつ構想を練っていきました。

## ● 試験結果

- ・ 席次 【中の中】

## ● 利用してよかったもの

- ・ 公務員講座
- ・ 過去問
- ・ 新聞

## ● 教養

公務員講座で配布されたテキストを用いて勉強しました。自分の得意な科目を重点的に行い、確実に点が取れるようにしました。数的処理が得意だととても得点源になるのでオススメです。時事問題は『速攻の時事』と新聞で補いました。

## ● 専門マーク

基本的には『スーパー過去問ゼミ(化学)』を使って勉強しました。研究室の先輩に分からないところを質問したり、試験区分が同じ人(私だと化学職を目指す人)と一緒に勉強したりしました。過去問で問題の傾向を把握し、必要であれば高校や大学の教科書を復習しました。また、試験前に見返すための要点を絞ったノートを作りまとめていました。選択問題の生物化学は大学で専門外の科目なので勉強せずに、工業化学・化学工学や分析化学に絞って勉強しました。試験の時も選択問題はすべて工業化学・化学工学を選びました。高校で物理を選択した人は大学で習っていなくても工業化学・化学工学をオススメです！

## ● 専門記述

専門記述の対策は行っていません。専門のマーク対策をしっかり行えば記述は補えるかな…と。

## ● 人事院面接

公務員講座で面接カードを何回も添削してもらいました。面接での質問を想定してそれに対する答えをノートにまとめたり、友達と面接練習をしたりして、本番に備えました。